

## 2020 年度後期 京都大学文学部 授業評価アンケート 集計結果

京都大学文学部・文学研究科では、学期末に授業評価アンケートを実施し、自己点検・評価に役立てるとともに、その集計結果を公開しています。ご協力いただきました教員・学生の皆さんに、お礼申し上げます。

### 【実施時期】

2020 年 12 月 21 日～2021 年 1 月 25 日

### 【回答率】

対象科目数 499 科目、履修者数（延べ）6,074 人に対し、回答者数は 668 人、回答率は 11%であった。

### 【結果の概評】

アンケートの回答率は 11%であり、2019 年度後期（10.4%）より若干上昇したものの、2020 年度前期の 16.9%より大幅に低下した。（例年、後期のアンケート回答率が前期よりも低下する傾向があるが、その原因は不明である。）文学部の授業は少人数授業が多く授業中にアンケートを行うのが難しいという事情もあるものの、少人数授業の割合がさらに高いと考えられる大学院生を対象とするアンケートの回答率がこれよりも高い（14.7%）ことを踏まえるならば、回答率向上の余地は大いにあると言わざるを得ない。今期のアンケートも回答率は低かったものの、過去のアンケート結果と比較して異常と判断されるような数字は見られなかった。それゆえ、以下では、学部全体の状況を把握する情報としては一定の限界があるとの留保を付しつつ、アンケート結果から大まかな傾向を見ていくこととする。

後期は、一定の条件がそろえば通常の対面型の授業を行うことが認められたものの、前期に引き続いて新型コロナウイルス感染拡大対策のため、Zoom 等による遠隔形式や対面・遠隔のハイブリッド形式で実施された授業が多かった。そのため、20 年度後期については、19 年度後期のデータのみならず、授業形態が類似していた 20 年度前期のデータとも比較を行う必要があるだろう。

授業への出席回数を問う Q.01 への回答では、「13 回以上」が 58.1%で最大であったが、19 年後期の 51.3%よりも大きく伸びている。ただし、これに「10 回以上 13 回未満」を加えた合計は、20 年度後期 85.3%、20 年度前期 82.3%、19 年度後期 85.9%と、大きく変動していない。10 回以上出席した学生の割合はほぼ一定ながら、ほぼ皆勤の割合がいっそう上昇した様子が窺われる。

注目されるのは、Q.02「この授業のために、予習・復習、宿題・課題を行った合計の時間はどれくらいですか」に対する回答に、20 年度前期から変化が見られたことである。20

年度後期に最も大きな割合を占めたのは「0.5 時間以上 1 時間未満」(33.1%)、次いで「1 時間以上 2 時間未満」(31.3%) であり、2 時間以上との回答は 26.2%であった。これに対して、20 年度前期は、「1 時間以上 2 時間未満」(37%) に山があり、2 時間以上との回答が 27.3%あった。20 年度前期に比べると、自習時間が全体的に短くなっていることを看取できる。しかし、1 年前の 19 年度後期と比べると、20 年度後期の自習時間はなお高い水準にある。19 年度後期には、2 時間以上との回答は 18%、「1 時間以上 2 時間未満」との回答が 22.1%であり、1 時間以上との回答の合計は 40.1%であった。これに対して、20 年度前期の 1 時間以上との回答の合計は 61.3%、20 年度後期は 57.4%となっており、顕著な伸びが認められる。

学生の勉学意欲を問う項目でも、20 年度前期の好ましい傾向が、おおむね維持されている。Q.03「あなたはこの授業に意欲的に参加しましたか」に対する、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせたポジティブな回答の合計は 85.4% (20 年度前期 87%)、Q.11「この授業を通じて知的な問題に取り組む力が向上しましたか」に対するポジティブな回答の合計は 87.4% (同 89.4%) となっている。これらの数字は、何れも 19 年度後期を上回っている。皮肉にもコロナ禍は、学生の自習時間を増加させ、勉学意欲を向上させる効果を有した側面がありそうである。言うまでもなく、コロナ感染対策のために学内外における学生の活動が大きな制約下に置かれていること自体は決して望ましいことではない。来年度以降、コロナ禍が終息して授業や学生生活が平時に戻ったときにも、学生に一定以上の自習時間を確保させ、学生の勉学意欲を高水準に維持していくことが今後の課題となろう。

授業への満足度を問う項目に対する回答は、19 年度後期および 20 年度前期とほとんど同じ水準で推移している。Q.04「授業に対する教員の熱意は感じられましたか」に対する「とてもそう思う」「そう思う」を合わせたポジティブな回答の合計は 93.1% (19 年度後期 93.8% / 20 年度前期 95.3%)、Q.05「この授業は体系的であり、よくまとまっていましたか」に対するポジティブな回答の合計は 89.4% (同 85.7% / 91.4%)、Q.12「この授業は全体として満足できるものでしたか」に対するポジティブな回答の合計は 91.6% (同 90.9% / 92.6%) であった。授業の内容については、遠隔型の導入の前後を通じて、おおむね 90% 近辺のポジティブな評価が得られていることとなる。

興味深いことに、教員の技術に対する高評価の割合は高まっている。Q.07「教員の声はよく聞き取れましたか」に対する「とてもそう思う」とする回答は 59.7% (20 年度前期 53.1%)、Q.08「板書の文字や機器による掲示は見やすかったですか」に対する「とてもそう思う」とする回答は 56.9% (同 47.4%)、Q.09「学生の理解度や反応に配慮して授業が進められましたか」に対する「とてもそう思う」とする回答は 46% (同 40.1%) となっている。ただし、これらの項目に「そう思う」とする回答を加えた数字は 20 年度前期からそれほど大きく変動していない。もともと 20 年度前期にも一定の技術を有していた授業担当者の一部がさらに長足の進歩を遂げたということなのかもしれない。

アンケートの自由記述欄 (ウェブ上では非公開) には、非常に多くの回答があった。20

年度前期にもまして回答数が増加したが、前期以上に遠隔授業についての評価が二極分化の傾向を強めている印象を受ける。一方には、遠隔型の授業に問題や痛痒を感じなかった、あるいは視聴覚教材の活用などの点で対面型よりも優れていると感じた、などのポジティブな回答がある。他方には、相当数のネガティブな回答があるが、その理由としては、通信環境や機器の問題、遠隔型の授業に教員が技術的に対応できていなかった問題などのほかに、集中力を維持するのが難しかった、教員・学生間のコミュニケーションが困難であった、などの指摘が寄せられた。遠隔型の授業で教員が多くの課題を課したために全体として課題の負担が過重になったとの前期に散見した指摘は、今期は明らかに減少した。

今期に新たに浮上したのは、ハイブリッド型授業の問題点である。ハイブリッド型授業に遠隔で参加した学生からも、対面で参加した学生からも、他方への遠慮から質問や発言を躊躇し、あるいは控えることがあったとの指摘があった。また、定量的な分析は出来ないものの、自由記述を読む限り、ハイブリッド型の方が完全な遠隔型よりも音声等に関する技術的な問題の発生頻度が高かったことが窺われる。自由に参加形式を選べるなどの理由からハイブリッド型を高く評価する意見もあるものの、ハイブリッド型については、ハード面も含め、いっそう工夫の余地がありそうである。

もう一点、気になるのは、遠隔授業を高く評価する回答の中に、対面型授業よりも心理的な負担が小さいことを理由に挙げるものが見られたことである。対面型授業を制限せざるを得ない状況で遠隔授業が円滑に進むことは望ましいが、かかる状況が1年に及ぶ中で、一部の学生の対面型授業への対応力（あるいは耐性）が低下している可能性がある。このことは、対面型授業では考えられなかったような要望を自由記述に散見するところにも示唆されているように思われる。コロナ禍が終息したときに対面型授業に適応できない学生が出てくる可能性にも注意しておく必要があるのかもしれない。

アンケート名 2020年度\_【後期】\_文学部\_授業評価アンケート

部局 文学部

開講年度 2020

対象科目数 499

履修者数 6074

回答者数 668

回答率 11

結果 (Q.01) あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。

A: 13回以上 (388票/58.1%)

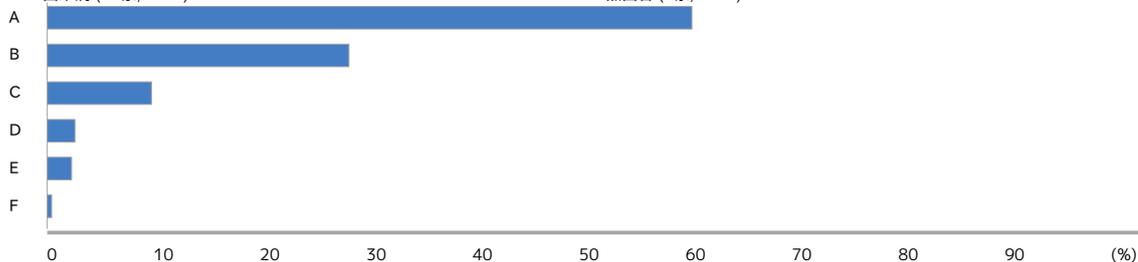
B: 10回以上13回未満 (182票/27.2%)

C: 7回以上10回未満 (63票/9.4%)

D: 4回以上 7回未満 (17票/2.5%)

E: 4回未満 (15票/2.2%)

F: 無回答 (3票/0.4%)



(Q.02) この授業のために、予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間（学期を通じた1週間当たりの平均値、30分単位）はどれくらいですか。

A: 3時間以上 (89票/13.3%)

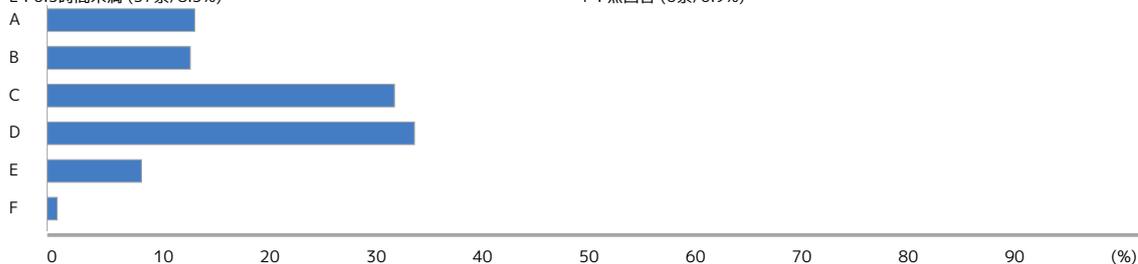
B: 2時間以上3時間未満 (86票/12.9%)

C: 1時間以上2時間未満 (209票/31.3%)

D: 0.5時間以上1時間未満 (221票/33.1%)

E: 0.5時間未満 (57票/8.5%)

F: 無回答 (6票/0.9%)



(Q.03) あなたはこの授業に意欲的に参加しましたか。

A: とてもそう思う (236票/35.3%)

B: そう思う (335票/50.1%)

C: どちらとも言えない (67票/10%)

D: そう思わない (23票/3.4%)

E: 全くそう思わない (7票/1%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.04) 授業に対する教員の熱意は感じられましたか。

A: とてもそう思う (391票/58.5%)

B: そう思う (231票/34.6%)

C: どちらとも言えない (41票/6.1%)

D: そう思わない (5票/0.7%)

E: 全くそう思わない (0票/0%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.05) この授業は体系的であり、よくまとまっていましたか。

A: とてもそう思う (350票/52.4%)

B: そう思う (247票/37%)

C: どちらとも言えない (63票/9.4%)

D: そう思わない (7票/1%)

E: 全くそう思わない (1票/0.1%)

F: 無回答 (0票/0%)



(Q.06) 授業はシラバスに沿っていましたか。

- A: とてもそう思う (345票/51.6%)
- B: そう思う (281票/42.1%)
- C: どちらとも言えない (29票/4.3%)
- D: そう思わない (10票/1.5%)
- E: 全くそう思わない (3票/0.4%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.07) 教員の声はよく聞き取れましたか。

- A: とてもそう思う (399票/59.7%)
- B: そう思う (192票/28.7%)
- C: どちらとも言えない (66票/9.9%)
- D: そう思わない (6票/0.9%)
- E: 全くそう思わない (3票/0.4%)
- F: 無回答 (2票/0.3%)



(Q.08) 板書の文字や機器による掲示は見やすかったですか。

- A: とてもそう思う (380票/56.9%)
- B: そう思う (210票/31.4%)
- C: どちらとも言えない (64票/9.6%)
- D: そう思わない (12票/1.8%)
- E: 全くそう思わない (1票/0.1%)
- F: 無回答 (1票/0.1%)



(Q.09) 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められましたか。

- A: とてもそう思う (307票/46%)
- B: そう思う (238票/35.6%)
- C: どちらとも言えない (99票/14.8%)
- D: そう思わない (22票/3.3%)
- E: 全くそう思わない (2票/0.3%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.10) 自主的な学習を促すための工夫や補足説明がありましたか。

- A: とてもそう思う (304票/45.5%)
- B: そう思う (262票/39.2%)
- C: どちらとも言えない (87票/13%)
- D: そう思わない (13票/1.9%)
- E: 全くそう思わない (2票/0.3%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.11) この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上しましたか。

- A: とてもそう思う (314票/47%)
- B: そう思う (270票/40.4%)
- C: どちらとも言えない (65票/9.7%)
- D: そう思わない (14票/2.1%)
- E: 全くそう思わない (4票/0.6%)
- F: 無回答 (1票/0.1%)



(Q.12) この授業は全体として満足できる内容でしたか。

- A: とてもそう思う (381票/57%)
- B: そう思う (231票/34.6%)
- C: どちらとも言えない (45票/6.7%)
- D: そう思わない (8票/1.2%)
- E: 全くそう思わない (2票/0.3%)
- F: 無回答 (1票/0.1%)



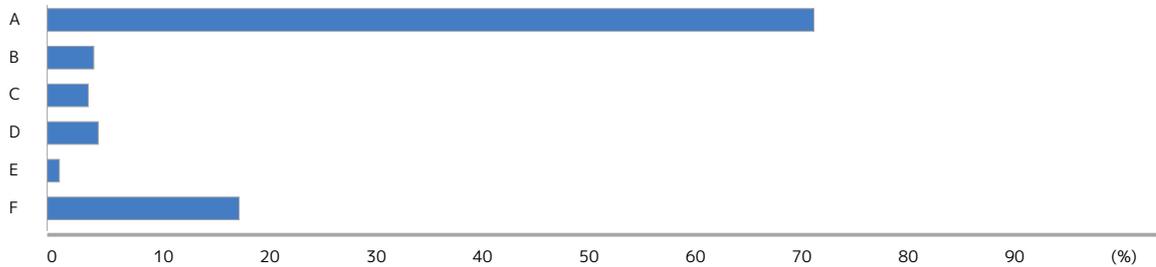
(Q.13) あなたは、シラバスを活用（使用）しましたか。

- A: はい (538票/80.5%)
- B: いいえ (130票/19.5%)
- C: 無回答 (0票/0%)



(Q.14) Q.13で「はい」と答えた方は、どのように活用しましたか（複数選択可）。

- A: 科目選択・履修登録に活用 (524票/69.1%)
- B: 予習・復習に活用 (32票/4.2%)
- C: 受講にあたり授業中などに活用 (28票/3.7%)
- D: 試験・レポートに活用 (35票/4.6%)
- E: その他 (8票/1.1%)
- F: 無回答 (131票/17.3%)



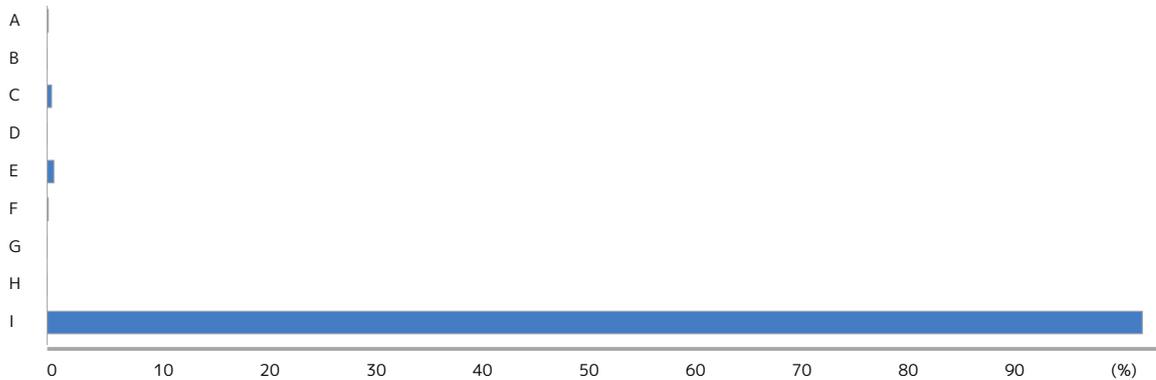
(Q.15) シラバスの情報は十分なものでしたか。

- A: はい (652票/97.6%)
- B: いいえ (11票/1.6%)
- C: 無回答 (5票/0.7%)



(Q.16) Q.15で「いいえ」と答えた方は、理由を以下より選択して下さい（複数選択可）。

- A: 「授業の概要・目的」の情報が不十分 (1票/0.1%)
- B: 「到達目標」の情報が不十分 (0票/0%)
- C: 「授業計画と内容」の情報が不十分 (3票/0.4%)
- D: 「履修要件」の情報が不十分 (0票/0%)
- E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報が不十分 (4票/0.6%)
- F: 「教科書」及び「参考書等」の情報が不十分 (1票/0.1%)
- G: 「授業外学習（予習・復習）等」の情報が不十分 (0票/0%)
- H: 「その他」の情報が不十分 (0票/0%)
- I: 無回答 (659票/98.7%)



(Q.17) この授業についての感想、授業の内容・方法などについての希望、改善してほしい点があれば書いて下さい。[200字上限]

(Q.18) 今学期はコロナ感染対策のため、遠隔形式（Zoom等）で授業が実施されました。遠隔形式でこの授業を受けてみた感想（良かった点、悪かった点、通信環境、改善してほしい点等）があれば書いて下さい。[200字上限]